国際ロータリー第2530地区　　創立 1951.1.1　承認 1951.3.23　登録番号 7734

福島ロータリークラブ会報

vol.23

Rotary　インスピレーションになろう　2018-19RI 会長　バリー・ラシン

18-19年度スローガン「融和と進化」

http://www.f-rotary.com/　2019.2.21 thu

福島ロータリークラブ Facebookページ
https://www.facebook.com/fukushimarotary/

【事務所】福島市栄町5-1 ホテル辰巳屋7F　【例会日】木曜日12：30　【TEL】024-524-1010　【FAX】024-524-1011　【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp　info@f-rotary.com

本日のプログラム

福島市長スピーチ

ふくしまを元気に！　新ステージへ　ー平成31年度　予算案の概要ー

福島市長　木幡　浩 様

会長あいさつ



2018-19年度会長　**浦部 博**

みなさんこんにちは！大分日が伸びてきて、春の気配が近くなってまいりました。今月は2/7（木）がIMの振替例会になりまして、2/14（木）は祝日週で休会でしたから、久々の辰巳屋例会ということになります。

そこで、今日は当クラブの名誉会員であります、木幡浩 福島市長をお迎えして、特別例会を開くこととなりました。心から歓迎を申し上げたいと思います。後ほど、スピーチをいただくことになっております。

さて、2/2（土）に福島東稜高校で「三者合同新世代会議」が開かれました。

「福島の魅力を考えよう」というテーマで、グループディスカッションを行いましたが、福島西RCの久米会長と台湾の米山記念奨学生の蔡騰輝くん、イギリス人のジェームス・ガスキンさんにも参加いただいて、大変立体的な意見交換ができました。青少年奉仕委員会の、小原敏委員長が主催されて、福島RCからは6名が参加いたしました。ありがとうございました。

2/8（金）のIMについては、振替例会ということで沢山のご参加をいただきました。

始めに「ポリオ撲滅に向けて」東京麹町RCの久保田智也氏から、基調講演がありました。これはポリオ撲滅がいまいち理解できないでいる会員にとっては、大変明快な説明というか、ポリオの基礎知識・世界の状況・そしてポリオ撲滅活動は、実は日本人お二人が提唱して始まったものであるという納得できるお話でありました。

そのあと「会員増強とクラブ改革」・「ポリオ撲滅への取組み」ということで意見交換を行いましたが、わたくしとしては、各テーブルから「クラブ内のジェネレーションギャップ」について、多くの意見が寄せられたのが印象的でした。

詳しくは、IM報告書が届くと思いますので、ぜひご覧ください。

最後に2/24（日）、駅前「こむこむプラネタリウム」で、青少年奉仕と、ロータリーの公共イメージの向上を目的とした、福島ロータリークラブ主催のイベント「信夫山から見る星空・スペシャルライブ」と「福島東稜高校・生徒による信夫山の魅力展」を開催いたします。このイベントは広く一般市民に公開しておりまして、お蔭さまで民報新聞・民友新聞にも、かなり大きく取り上げて頂いております。ぜひご期待ください。

例会次第



開会点鐘　浦部 博 会長

ロータリーソング「我等の生業」

ソングリーダー　菅沼 裕 会員

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

福島市長　木幡 浩 様

会長あいさつ　浦部 博 会長

2月誕生祝い

地区大会表彰伝達《クラブ表彰》



直前会長 森岡幸江 会員

幹事報告　山口圭介 副幹事



■**IT戦略・雑誌小委員会**

＊「友」2月号紹介　佐藤美奈子 小委員長

■**プログラム・ニコニコBOX小委員会**

ニコニコBOX担当



佐藤 裕 委員

■**本日のプログラム**

閉会点鐘　浦部 博 会長

例会プログラムのご案内

3月7日（木）　12：30～　辰巳屋

【通常例会】

新会員スピーチ　**山崎高寛 会員**
（パワースタッフジャパン代表取締役社長）

■3月誕生祝い　■「友」3月号紹介

3月14日（木）　12：30～　辰巳屋

【通常例会】

県北第一分区　古俣 猛 ガバナー補佐　クラブ訪問

3月21日（木）　祝日の為休会

福島市長スピーチ

ふくしまを元気に！　新ステージへ　ー平成31年度　予算案の概要ー

福島市長　木幡　浩 様



平成31年度の予算案についてお話をさせていただきます。実質的に最初から私が予算編成に携わるのは今回が初めてであります。予算編成でこだわった点ですが、まず1点目は喫緊の課題である子どもたちの問題です。子育て支援、子どもたちの環境整備を最重点に取り上げました。2点目は新しい行政や攻めの姿勢、より元気に、福祉など安心安全があって、より積極的に健康、安全を追求していく、こういった点に特色があります。3点目は市役所の事業は何か単発のことをやってすぐに良くなるということはありません。様々なものを組み合わせて、或は先を見越しつつ、一石二鳥なども考え、そういったものでパッケージで仕事をしていかないといい政策は実現しません。その点では先を見越して、かつパッケージにした取り組みを多くいたしました。4点目は、市役所の中の改革になります。

過去最高の積極型予算

一般会計予算規模ですが、1,234億5,000万円と12345と数字が並びました。新時代に向けて上昇気流に乗せていくのにふさわしい数字の並びになっていると思います。前年度と比較して8.4%の減少となっておりますが、除染関連事業の縮小が関係してこのような数字になっています。除染関連事業を除きますと、1,040億円余、3.7%プラスと非常に積極型で過去最大の予算となっております。

予算では子どもたちに関することを最重点に取り組ませていただきました。人口減少が福島においても加速しています。福島県が社会減全国1位で人口が流出しています。そして福島県の中で人口流出1位が福島市です。福島市は都市でありますから人口のダムにならなければなりません。

子どもたちの未来へ

人口流出の要因として1つ目は若い世代の方々からすると、福島市はおそらく暮らしづらいということがあると思われます。その点に関して一番重視しているのが待機児童の問題です。待機児童と学校の環境、本当に他の分野に比べると、私自身としましては恵まれてないと思います。その点でいかにそこを底上げしていくかが喫緊の課題であると思います。待機児童の解消のためにパッケージで進めていきますが、とにかくお金を使って枠を増やすことは可能なのですが、保育士が足りません。また今年の10月から幼児教育・保育の無償化が始まります。さらに保育の需要が高まっていきます。そうしますとまた待機児童が増えかねません。認可外保育所、ベビーシッターなども無償の対象になってきます。そのために保育の安全や質を確保するように取り組んでいきます。

またもう1つ、待機学童も県下でワーストワンです。今回は学童クラブも8クラブ増やします。そして虐待の防止に向けて、子ども家庭総合支援拠点事業を前向きに進めます。それから充実した学習環境の整備として学校の耐震化を国の補正予算を活用しての前倒し、学校トイレの洋式化を進めます、そしてICT整備として市内では電子黒板が無いなど全国的に遅れています。新年度から4カ年でタブレット等を全校に整備します。外国語教育の推進、特別支援学校を新しい校舎に変えていきます。子どもたちのチャレンジを応援し、子どもたちの意欲を尊重しながら自主的なものに対して支援をしていきます。

「健都ふくしま」の創造

福島市において市民の健康は最重要課題です。地域や職場、関係団体等との連携を強化し、実効性ある市民の健康づくりを推進します。健都ふくしま創造市民会議という形で大いに健康推進づくりを進めていきます。また、オリンピックの開催に伴って受動喫煙の問題も検討して参ります。そして歯と口腔の健康づくりも進めます。

予防接種に関しては、昨年福島市でも3人が風しんに感染しました。全国では感染が増えています。オリンピックの開催に伴いまして、感染症が一層増える可能性があります。福島市でも早速予算を計上いたしました。高齢者の健康問題も守りではなく、元気づくりを積極的に進めて参ります。

安全安心の確保

安全安心の確保では、全ての除去土壌を2021年度末までに中間貯蔵施設への輸送の完了を目指します。

その他、消防力の充実強化、あるいは地域における安全安心の確保ということで色々取り組んでまいります。阿武隈川、松川、荒川の河川改修は国や県が事業主体ですが、大事なのは如何にソフト面で強化をするかであります。この1月に洪水ハザードマップを全戸に配付させていただきました。

また、コンセッションいわいる水道事業の民営化などの様々な話もありますが、全国的には水道管が老朽化しております。水道管の更新比率は、年に0.8%、125年かかってやっと更新するペースです。因みに福島市は0.4%、250年かかって水道管を更新する計算になります。今度の計画では3カ年計画を作りました。今年度は0.85%まで引き上げます。

まちのにぎわいと活力

観光コンベンション協会の体制を強化をします。今年はなんと言っても東北絆まつりがあり、わらじまつりもリ

ニューアルいたします。ここを大いに賑わいの場として頑張っていきたいと思います。街との連携を良くし、街に人がうまく流れるような仕掛けをしたいと思います。今回の集客目標は30万人としております。

また、オリンピックを契機としてのインバウンドとしましては、福島駅前広場のWiFi環境整備、案内表示の多言語化、それからトイレの洋式化を今年度から3年間かけて80%以上にするという目標を掲げています。

大笹生の工業団地も新年度中には完成します。道の駅は2020年度を目標にやって参りましたが、他の施設との差別化をはかるために大変残念ですが、2022年春を目標にしっかり中身を詰めて進めていきたいと思います。市の体制も、商工観光部に道の駅の担当部署を設置し一元化して参ります。

農業についても新しい取り組みを始めました。農業後継者の確保、新規就農の方を対象としていたのですが、兼業の方々にも支援をしていきます。昨年の猛暑によって農業の環境も変わってきました。気候変動を先取りした対策で農産物の品質の向上に努めて参ります。また、4月にオープンする福島大学食農学類の支援を行い、連携事業を推進していきます。

オリンピック・パラリンピックと遺産（レガシー）の創出

オリンピックを契機にまちづくりのグレードアップを図ります。スポーツでのまちづくり、様々なスポーツ施設の整備をします。またオリンピックは多文化共生への取り組みがあります。今回福島市としましては初めて多文化共生のまちという言葉を使いました。バリアフリー、手話言語条例、ヘルプマークの普及など障がい者にやさしいまちづくりをこの機会にしっかり取り組んで参ります。風格ある県都を目指すまちづくり構想で福島市中心部を大々的に変えて参ります。また、オリンピックまでには、駅周辺の賑わいには様々な取り組みをして参ります。西口にはマルチビジョンを設置し、おもてなし道路、また、JRさんとも協力して復興のシンボル「顔」となるような事業をすすめて参ります。「ふくしまの水」の水飲み場などで猛暑対策をするなど、総合的にまちづくりを進めて参ります。

風格ある「県都ふくしま」

風格ある県都を目指すまちづくりとして市役所本庁舎西棟、図書館、コンベンションなどの整備がありますが、この風格ある県都を目指すまちづくりは、まず中心部に、広域的に利用される機能を集めていきます。ソフト面も充実させて賑わいのあるものにしつつ、単に賑わいだけでなく、みんなが回遊できるようにしていきます。そしてまちなか居住を推進し、バリアフリーで快適なものとし、市民のみなさんが参画、或は民間の方がこういう方向性だと意識しながら取り組んでいただける様な市民参加の街づくりをしようということであります。

広域連携についても福島圏域連携推進協議会をつくりまして、今年度から11市町村でお金を出し合って進めています。歴史と文化、次世代の環境という点でも福島の歴史を活かし、写真美術館、旧広瀬座の改修もすすめていきます。またごみ減量大作戦の推進ですが、2021年度末までに20%減を目標に、有料化しなくても済むようにごみの減量を頑張っていきます。

市政運営の新ステージ

新システムの導入により、市民サービスの向上はもとより、コスト縮減と事務作業の効率化、スピードアップを図ります。

市役所の中を変えながら、市民の皆さんと一体となって福島市政を推進して参りたいと思います。私もスピードと実行、開かれた市政で頑張って参りますので、どうか皆様方にはご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

2018-19年度　第2530地区県北第一分区　Intercity Meeting


RI第2530地区
平井義郎 ガバナー


RI第2580地区東京RC
直前会長 久保田智也 様


県北第一分区
古俣 猛ガバナー補佐

基調講演「ポリオ撲滅に向けて」
RI第2580地区　東京麹町RC
直前会長　久保田智也 様

グループ討論
第一部「会員増強とクラブ改革」
第二部テーマ「ポリオ撲滅への取組み」

懇親会

2/8（金）14時からクーラクー リアンテ（旧サンパレス福島）において、福島南RCをホストとして、2018-19年度 第2530地区県北第一分区 Intercity Meetingが開催されました。

始めに「ポリオ撲滅に向けて」と題して、東京麹町RC、久保田智也氏の基調講演があり、ポリオの基礎知識・世界の状況など、ポリオについての理解を深めました。

その後「会員増強とクラブ改革」、「ポリオ撲滅への取組み」をテーマにグループに分かれ意見交換をしました。





地区大会表彰伝達《クラブ表彰》





前年度森岡会長へ2017-18年度 国際ロータリー会長賞



●新会員入会数　第3位

●米山記念奨学会寄付総額　第2位

●米山記念奨学会会員1人あたり平均寄付額　第4位



●ロータリー財団年次寄付・恒久基金　第3位

●クラブ会報コンテスト　優秀賞

■「ロータリーの友」2月号のご紹介

IT戦略・雑誌小委員会　**佐藤美奈子** 小委員長



【注目記事】

●横組みP7-11

特集　難民を知る

今月は、「平和と紛争予防／紛争解決月間」としてミャンマー、シリア、南スーダンの3人の難民の足どりを紹介しつつ、ロータリーに出来ること、取り組みについて記載されています。

私のひとこと



加納武志 会員

私が薬局を開局して福島に来たのは昭和60年の5月です。約35年前来福直後には、東北弁にも慣れていない為、特に電話では何を話されているのか？理解できず、何回も何回も聞き直した覚えがあります。

当時は福島の人々が、西日本の関西弁がすべて同じに聞こえるように、私には仙台・山形・秋田などの東北地方の言葉すべてが同じ東北弁にしか聞こえず、福島の人が山形や秋田はなまっているという話を聞いたとき、同じ言葉を話しているのに何を言っているのだろうと感じていました。しかし35年間の福島での生活により、今ではっきりと東北各地方の言葉の違いがわかるようになりました。

私は残された人生を素晴らしい仲間・家族と素晴らしい風土の福島で頑張ります。

例会変更のお知らせ

■福島西RC、2/25（月）の例会は理事会承認休会となっております。

■福島北RC、2/26（火）の例会は創立56周年の記念夜間例会となっております。

その他のお知らせ

■本日「がんばっぺ福島ユナイテッドFC小銭BOX」を回します。ご協力よろしくお願い申し上げます

■3/9（土）新会員オリエンテーションが穴原温泉吉川屋にて開催されます。入会3年未満の方には義務出席となります。出欠のご返信をよろしくお願いします。

■福島RCのフェイスブックが運用開始となっております。会報にQRコードが掲載されておりますので、是非ご覧になってください。

■2月ロータリーレートは1ドル110円になります。

2月誕生祝い ～おめでとうございます～



箱岩　偉 会員 昭和44年2月2日	**佐藤美奈子 会員** 昭和42年2月11日	**児玉　健夫 会員** 昭和18年2月24日
丹羽　真一 会員 昭和22年2月3日	**幡　研一 会員** 昭和19年2月17日	**吉田　大樹 会員** 昭和50年2月24日
田沼紀美子 会員 昭和30年2月5日	**菅野　孝志 会員** 昭和27年2月24日	**渡辺　健寿 会員** 昭和22年2月25日

ニコニコBOX報告

本日のニコニコBOX投入額　23件　¥46,000　累計¥1,146,000　［報告］　佐藤 裕 委員

浦部 博 会長
木幡浩市長のご出席を心から歓迎いたします。
日が長くなり、春の気配になってまいりました。
後半の活躍に力を注ぎましょう。

加藤 義朋 会員
初孫の中学校合格祝いに週末、千葉に行って来ます。

幡 研一 会員
木幡市長を歓迎して誕生祝いありがとうございます。

坪井 大雄 会員
このたび丹治宮司が、全国の神職2万5千人のうち、わずか100名しかいない「神職身分特級」に全国最年少でなられました。会員の皆様、丹治宮司に大きな拍手を！

江波 恒夫 会員
木幡市長の来訪を歓迎して。

小林 仁一 会員
木幡市長のスピーチを楽しみにしています。
ご講演ありがとうございます。

クラブ会員より　安藤健次郎／白岩康夫／森岡幸江／内池浩／森 洋一／八子英器／児玉健夫／後藤浩之／後藤洋伸／黒崎浩一／丹治正博／安藤錬雄／佐藤良智／今井理基夫／佐藤英典／反後太郎／佐藤美奈子